

取扱説明書 基本編

ネットワークカメラ

品番 BB-SW175/BB-SW172



パナソニックシステムネットワークス株式会社

〒812-8531 福岡市博多区美野島四丁目1番62号

© Panasonic System Networks Co., Ltd. 2013

Cs1011-3113 PGXQ1096XA

Printed in China

保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

● 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

● ご使用前に「安全上の注意」をお読みください。

● 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

取扱説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で設置工事されたことにより事故や損害が生じたときは、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保障の対象外となります。

主な機能

屋外設置対応

本機は防水対応をしており、屋外への設置が可能です。(JIS C0920準拠 IP55相当)

● ネットワーク環境で高効率運用ができるトリフレンジ

2つのH.264出力と1つJPEG出力、計3つの出力が同時に可能です。

● カメラ電源工事が不要 (Power over Ethernet 受電。以下、PoE)

PoE規格に対応するネットワーク機器に接続することができます。カメラ電源工事が必要ありません(IEEE802.3af準拠)。

● 適応型暗部補正機能を搭載

照度差がある被写体の暗い部分の黒づぶれを補正します。

● パン・チルト機能及びプリセット機能を搭載

1台で広いエリアをモニタリングすることができます。

● 音声入出力搭載で双方向通信が可能

音声モニタリングに加えて遠隔地に音声を送信できます。

● SDHC/SDメモリーカードスロットを搭載

アラーム発動時やスクリューディス、ウェブブラウザ画面からの手動作業で、SDHC/SDメモリーカードにH.264動画またはJPEG画像を保存できます。また、ネットワーク障害時にJPEG画像を保存することもできます(ダウンロード可能)。

商標および登録商標について

● Adobe、Adobeロゴ、及びReaderは、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国及び他の国における登録商標または商標です。

● Microsoft、Windows、Windows Vista、Internet Explorer、ActiveX 及びDirectXは、米国Microsoft Corporationの米国及び他の国における登録商標または商標です。

● Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面表示を実行しています。

● Intel、Intel Coreは米国及び他の国におけるIntel Corporationの商標または登録商標です。

● iPad、iPhone、iPod touchは、米国および他の国で登録されたApple Inc.の商標です。

● Androidは、Google Inc.の商標または登録商標です。

● その他、この説明書に記載されている会社名・商品名は、各会社の商標または登録商標です。

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危険、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

してはいけない内容です。

実行しなければならない内容です。

警告

● 工事は販売店に依頼する

工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

○必ず販売店に依頼してください。

● 異常があるときは、すぐ使用をやめる

煙が出る。においがする。他の物が変化するなど、そのまま使用すると火災・落下によるけがや事故、器物損壊の原因となります。

○放置せずに、直ちに電源を切り、販売店に連絡してください。

● 総質量に耐える場所に取り付けける

落すや転倒によるけがや事故の原因となります。

○十分な強度で補強してから取り付けてください。

● 本機、ケーブルなどが容易に破壊されるような場所には設置しない。

● 定期的に点検する

金具やねじがさびると、落下によるけがや事故の原因となります。

○点検は、販売店に依頼してください。

● ジャンボルトは指定されたトルクで締め付ける

落下によるけがや事故の原因となります。

● 携動のないところに設置する

取扱ねじやサドルがゆるみ、落下などでけがの原因となります。

● 電線は電源を切つから行う

感電の原因になります。また、ショートや誤配線により火災の原因となります。

● 分解しない、改造しない

火災や感電の原因となります。

○修理や点検は、販売店に連絡してください。

● 异物を入れない

水や金属の内部に入ると、火災や感電の原因となります。

○直ちに電源を切り、販売店に連絡してください。

● 可燃性ガスの雰囲気中で使用しない

爆発の原因になります。

● 塵埃や腐食性ガスが発生する場所に設置しない

取扱部が劣化し、落下によるけがや事故の原因となります。

● 落こさない、強い衝撃を与えない

けがや火災の原因となります。

● 金属のエッジで手をすまない

強くこすりすぎると、手の原因となります。

● SDHC/SDメモリーカード (別売り) は、乳幼児の手の届く所に置かない

誤って飲み込むおそれがあります。

○万が一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

● 雷が鳴りだしたら、本機や接続したケーブルに触れない (工事時を含む)

感電の原因となります。

注意

● お手入れのときは電源を切る

けがの原因となります。

付属品の種類

取扱説明書 基本編 (本書) 1冊
保証書 1式
CD-ROM* 1枚
コードペル* 1枚

他に必要なもの

[市販品]

- PoE電源供給装置 (PoE電源供給装置で給電する場合)
- パーソナルコンピューター (以下、PC) (設定・画像確認用)
- ルーター
- Ethernetケーブル (カテゴリ5ストレートケーブル)

[別売り品]

- ACアダプター (ACアダプターで給電する場合 品番: WV-PS16)

取扱説明書について

本機の取扱説明書は、本書と取扱説明書 操作・設定編 (CD-ROM内の) の2部構成になっています。本書では、設置のいたとネットワークの接続・設定のしかたについて説明しています。

本機の操作や設定のしかたは、付属CD-ROM内の「取扱説明書 操作・設定編」をお読みください。PDFファイルをお読みになるには、アドビシステムズ社のAdobe® Reader®が必要です。

必要なPCの環境

CPU Intel® Core™2 Duo 2.4 GHz以上推奨 512 MB以上 (ただし、Microsoft® Windows® 7またはMicrosoft® Windows Vista™をお使いの場合) 1GB以上

ネットワーク機能 10BASE-Tまたは100BASE-TX 1ポート

サウンド機能 サウンドカード (音声機能を使用する場合)

画像表示機能 ディスプレイ (解像度: 1024×768ピクセル以上、発色: True Color 24ビット以上)

対応OS Microsoft® Windows® 7日本語版

ウェブブラウザ Microsoft® Internet Explorer® 8.0 SP3日本語版

その他 CD-ROMドライブ (取扱説明書および各種ソフトウェアを使用するため)

DirectX® 9.0c以上 Adobe® Reader® (CD-ROM内のPDFファイルを閲覧するため)

● 重要な

- 必要なPCの環境を満たしていない場合には、画面の描画が遅くなったり、ウェブブラウザが操作できなくなったりするなどの異常が発生するおそれがあります。
- Microsoft Windows 7 StarterとMicrosoft Windows XP Professional x64 Editionには対応していません。
- IPv6で通信を行う場合は、Microsoft Windows 7または、Microsoft Windows Vista をお使いください。

メモ

- Microsoft Windows 7または、Microsoft Windows VistaやInternet Explorerを使用する場合に必要なPoE環境や注意事項など詳しくは、付属CD-ROM内の「Windows®/Internet Explorer®」のバージョンによる注意事項を読みください。
- Microsoft Windows XPを使用する場合、撮影シーンが大きく変わるもの (動きのある被写体を撮影したなど) に、OS撮影処理 (GDI) の制約により、ティアリング (画面一部が斜めに表示される現象) が発生することがあります。
- 対応OSとブラウザの動作検証については、パナソニックサポートウェブサイト (<http://panasonic.biz/netsys/networkcam/support/index.html>) をご参照ください。

画面のちらつき (フリッカ) について

画面のちらつきによって、その部分がちらつきすることがあります。固定監視の向きを変えた場合など、前の画面にスクロール光があると色々して残ります。

● 動きの速い被写体を写したとき、画面を横切る物体が斜めに曲がって見えることがあります。

AVC Patent Portfolio Licenseについて

本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、以下に記載する行為にかかるお客様個人のための非営利目的の使用を除いてはライセンスを受けていません。

(i) 映像情報をAVC規格に準拠して (以下、AVCビデオ) 記録すること。

(ii) 個人の活動に從事する消費者によって記録されたAVCビデオ、または、ライセンスをうけた提供者から入手したAVCビデオを再録すること。詳細についてはMPEG LA, LLCホームページ (<http://www.mpega.com>) をご参照ください。

画面のちらつき (フリッカ) について

照明の影響により、画面のちらつきが発生することがあります。光量制御モードをフリッカレスに設定してください。お住まいの地域の電源周波数に応じて、フリッカレス (50 Hz) とフリッカレス (60 Hz) を選択してください。設定方法については、「取扱説明書 操作・設定編」(CD-ROM内) をお読みください。

MOSセンサーについて

● 画面の一部にスポット光のような明るい部分があると、MOSセンサー内部の色フィルターが劣化して、その部分が変色することがあります。固定監視の向きを変えた場合など、前の画面にスクロール光があると色々して残ります。

● 動きの速い被写体を写したとき、画面を横切る物体が斜めに曲がって見えることがあります。

AVC Patent Portfolio Licenseについて

● 画面の一部にスポット光のような明るい部分があると、MOSセンサー内部の色フィルターが劣化して、その部分が変色することがあります。固定監視の向きを変えた場合など、前の画面にスクロール光があると色々して残ります。

● 動きの速い被写体を写したとき、画面を横切る物体が斜めに曲がって見えることがあります。

画面のちらつき (フリッカ) について

● 画面のちらつきによって、その部分がちらつきがあると、その部分が色付きが発生する場合があります。

消耗品について

次の部品は消耗品です。寿命回数を目安に交換してください。なお、寿命回数は、使用環境、使用条件により異なります。

寿命回数+20°Cにて使用する場合の目安です。

● パンモーター、チルトモーター、パン用フラットケーブル: 約370万動作

回転部について

● パン・チルト回転部は長時間操作しないと、内部に塗布されたグリースの粘度が高まり、動かなくなることがあります。パン・チルト回転部を定期的に動かしてください。

時刻設定について

本機は運用開始前に時刻の設定が必要です。時刻の設定については、「取扱説明書 操作・設定編」(CD-ROM内) をお読みください。

フレックカレス設定の白飛びについて

光量制御モードがフレックカレス設定の場合、画面の明るい部分の階調がELC設定に比べて揺らぎが大きいです。

細かい絵柄への色付きについて

画面内に細かい絵柄があると、その部分に色付きが発生する場合があります。

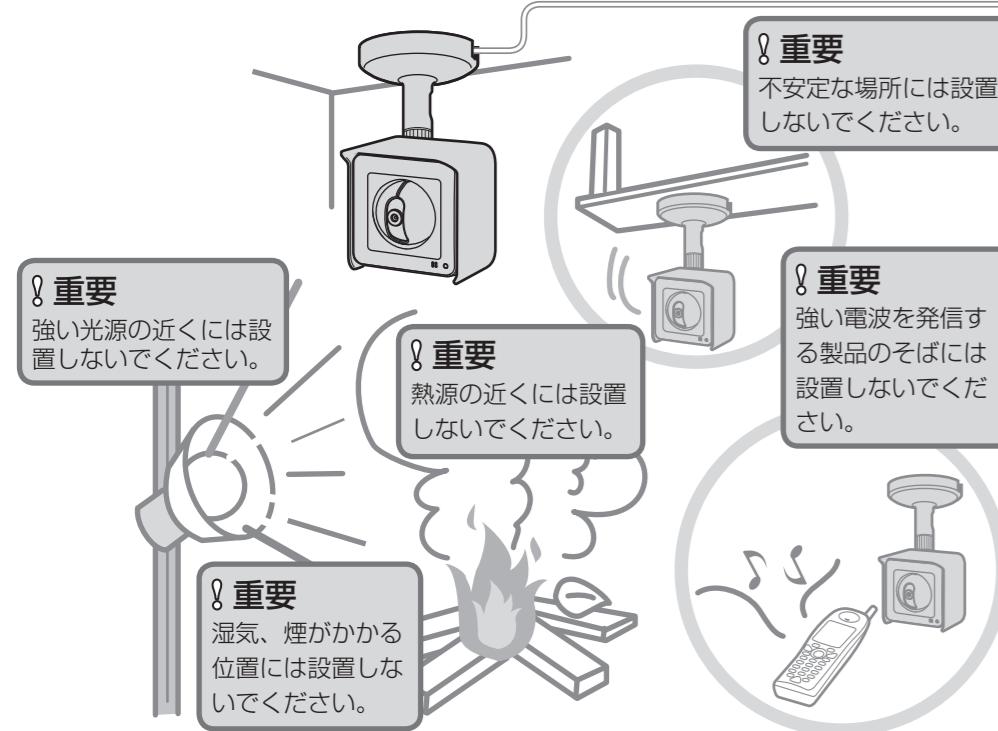
画面のちらつき (フリッカ) について

● この商品は、特定のエリアを対象に監視を行うため映像を得ることを目的に作られたものです。この商品は防犯・犯罪防止のためではありません。

●

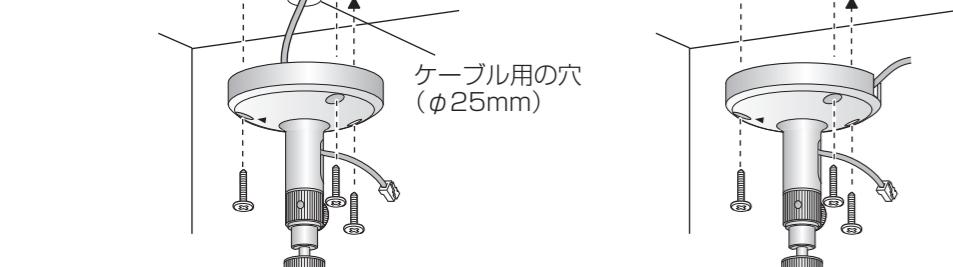
1 取り付け位置を確認する

カメラの取り付け位置を決める



ケーブルの通り方を決める

ケーブルを天井や壁の中を通すときには、ケーブル用の穴（φ25 mm）をあける必要があります。（ねじ：最低引抜強度（1本あたり）196 N [20 kgf]）



ケーブルの長さを決める

カメラ設置位置からPCまでの距離を確認し、必要な長さのEthernetケーブル（市販品）を準備します。

取り付け方を決める

■天井または壁に取り付ける
カメラの自重で落ちることのないように、厚さが25 mm以上ある木材の部分または梁があるところを選んでください。厚さが25 mm以上ないときは梁がない場合は、天井または壁の裏側に当板を使うなどしてください。（ねじ：最低引抜強度（1本あたり）196 N [20 kgf]）

天井または壁の材質がコンクリートのとき
設置したい位置が決まったら、市販のドリルと天井または壁取り付け専用のアンカー（ねじの呼び径4.0 mm）を用意し、以下の手順を参考に穴を開けてください。

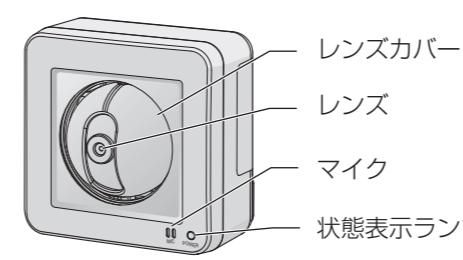
1. スタンドを設置したい位置に合わせてねじ穴（3か所）と落丁止ワイヤーの取り付け位置に印をつけます。
2. 由に合わせてドリルで穴を開け、アンカーを差しこみ、ソフトハンマーなどで軽くたたきます。
3. カンナをねじで固定します。

コクシゲン用ドリル
(ダイルの場合はダイル用ドリル)
防水処理（コーキング）する

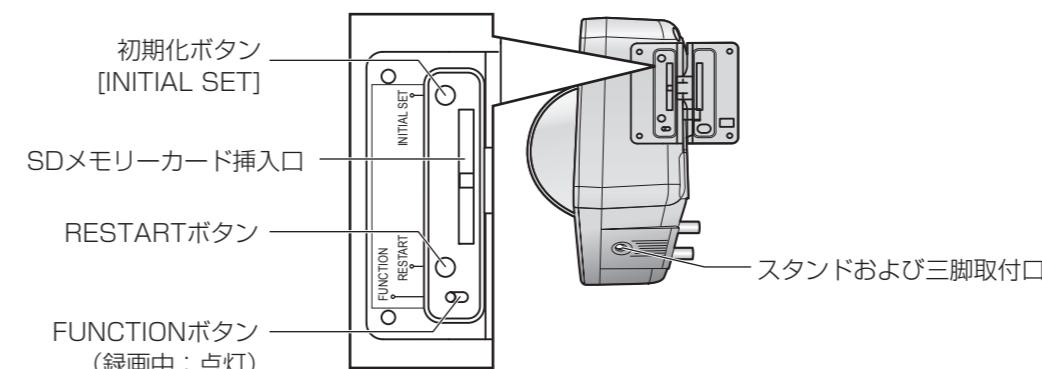
■三脚に取り付ける
一般的なカメラで使う三脚（市販品）に取り付けることもできます。

2 各部の名前

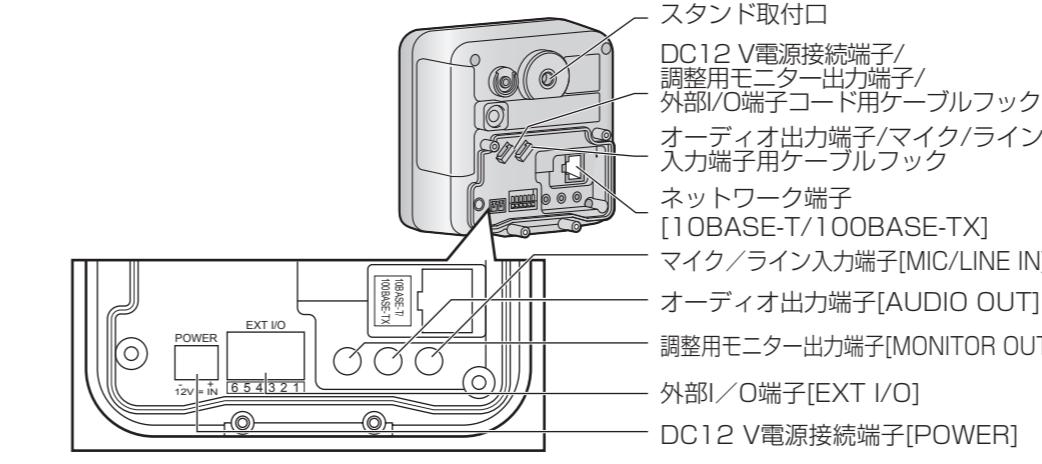
<前面>



<側面と底面>



<背面>



外部I/O端子の説明

ピン	機能
6	DC電源出力 ・電源出力電圧10.5 V～13 V ・電源出力電流100 mA
5	GND
4	GND
3	外部I/O端子3 (ALARM IN3/AUX OUT)
2	外部I/O端子2 (ALARM IN2/ALARM OUT)
1	外部I/O端子1 (ALARM IN1)

初期化ボタンについて

本機の電源を切り、初期化ボタンを押しながら本機の電源を入れてそのまま初期化ボタンを5秒間押し続けてください。本機が起動して、ネットワーク設定データを含む設定が初期化されます。状態表示ランプの点滅（橙）が消灯したら、初期化終了です。必要に応じて事前に設定データをメモなどに書き写しておくことをお勧めします。ただし、プリセットポジションの内容、HTTPSで使用するCRT鍵は初期化されません。

■重要

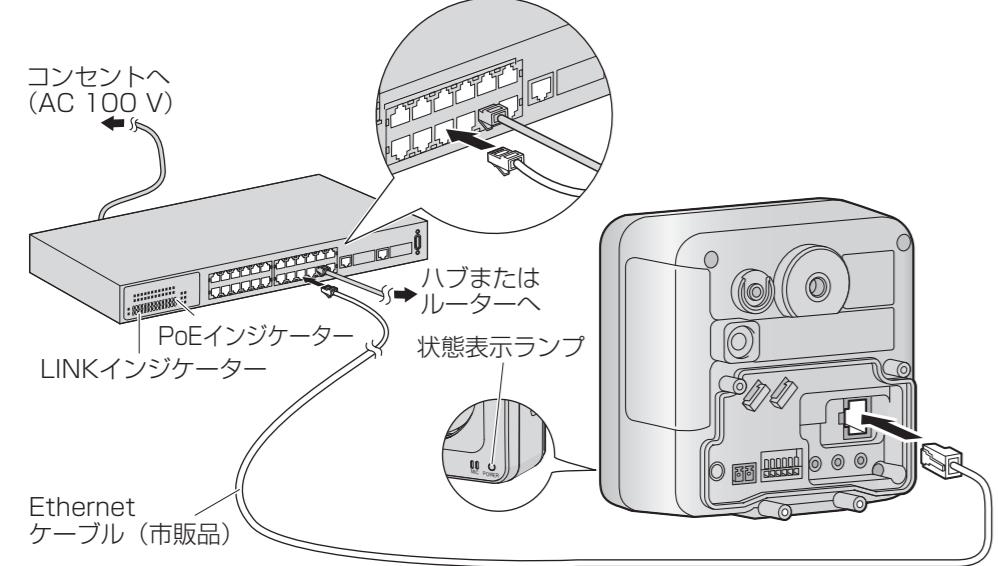
- 初期化中は電源を切らないでください。正しく初期化されない場合や故障の原因になる場合があります。

RESTARTボタンについて

電源が入っている状態で、RESTARTボタンを押してカメラを再起動することができます。先の細長い棒状のもので、RESTARTボタンをゆっくりと約1秒間押し続けてください。カメラがパンチルトの初期動作をすると再起動は完了です。

3 カメラを接続する

Ethernetケーブル（市販品）をカメラのLANジャックとPoE電源供給装置に接続する（PoE電源供給装置で給電する場合）



メモ
● 状態表示ランプが緑点灯しないときは、以下を参照してください。
→ 付属CD-ROM内の取扱説明書 操作・設定編：「故障かな？」
● PoE電源供給装置またはイーザネット送電アダプター（品番：BB-HPE2）の動作については、お使いの製品の取扱説明書を参照してください。

■重要
● 4 対UTP/STPのEthernetケーブル（推奨ケーブル：パナソニック株式会社製 エコLANケーブル CAT5E NR 13533シリーズ、最大長100 m）（2011年9月現在）を使用してください。
● PoE電源供給装置は必ずIEEE802.3af準拠品を使用してください。正常なデータ伝送、電力給電が行わない場合があります。
● 当社がおススメするPoE電源供給装置の情報は、サポートウェブサイト（http://panasonic.biz/netsys/netwkcam/support/）を参照してください。

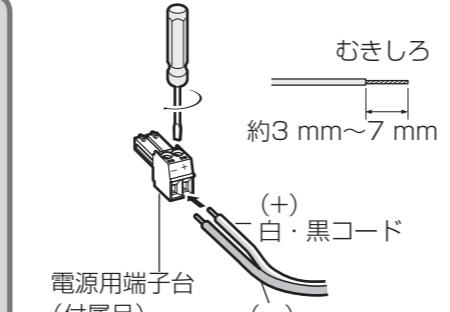
DC12 V電源接続端子（専用ACアダプターを使用する場合）

専用ACアダプター（品番：WV-P516 別売り）を接続します。
① 電源用端子台（付属品）のねじを緩めます。
② 電源用端子台に出力ケーブルを接続します。
出力ケーブルの外皮を3 mm～7 mm切り断し、ショートなどがないように、芯線をよくよじってください。
※ 外皮を剥いた芯線が電源用端子台から露出せず、確実に接続されていることを確認してください。
※ ケーブルのハンドル付部分を剥離してから、外皮を3 mm～7 mmむき、より線を露出させないように加工して使用してください。
③ 電源用端子台のねじを締めます。（推奨締付トルク：0.34 N・m [3.5 kgf・cm]）
④ 電源用端子台の後面のDC12 V電源ケーブル接続端子に接続します。

■重要
● ACアダプターは専用ACアダプター（品番：WV-P516 別売り）を使用してください。
● 電源用端子台は、必ず付属品を使用してください。
● 電源用端子台に出力ケーブルを接続するときは、極性を間違わないように注意してください。極性を間違えた場合、故障や誤動作につながるおそれがあります。
● 電源用端子台は、DC12 V電源ケーブル接続端子の奥まで確実に差し込んでください。接続が不確実な場合、故障、誤動作につながるおそれがあります。

警告

● ACアダプター^{※1}、ACコード^{※2}をぬらさない（ACアダプター、ACコードは防水構造ではありません）。
発火、漏電の原因になります。
○ぬらした場合は手を触れず、販売店へご相談ください。
※1：ACアダプター給電の場合のみ



外部I/O端子

外部機器を接続します。ケーブルの外皮を9 mm～10 mm切り断し、ショートなどないように芯線をよくよじってから接続してください。

- 線材仕様：22 AWG～28 AWG
単線・ヨリ線

むきしろ
約9 mm～10 mm

■重要

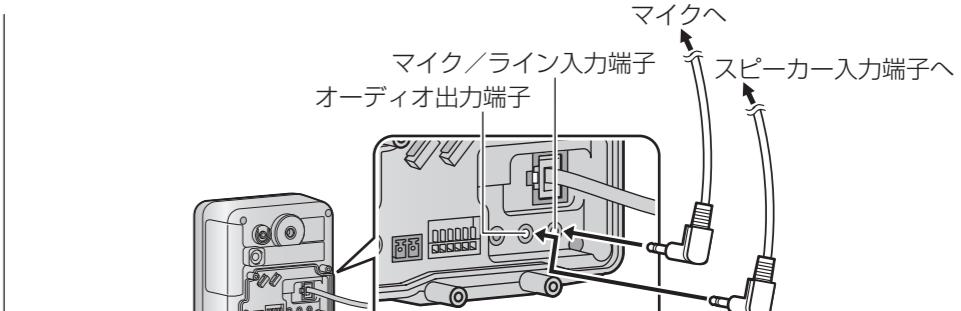
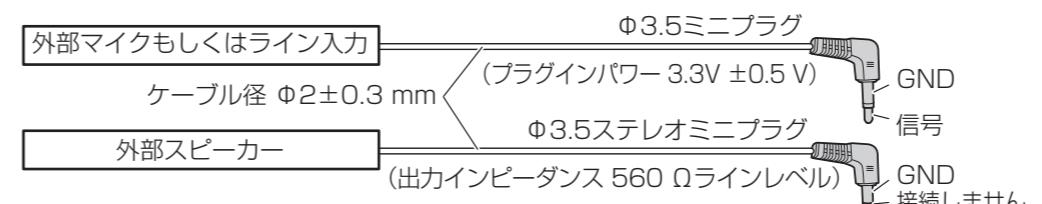
- 1つの端子に2本以上の線を接続しないでください。2本以上接続する必要がある場合は、本機外部で線を分岐させ、接続してください。
- 外部I/O端子2～外部I/O端子3は、入力端子/出力端子に切り替えることができます。外部I/O端子2、3（アラーム2、3）の設定（OFF/アラーム入力/アラーム出力またはUX端子（外部出力））については「取扱説明書 操作・設定編」（CD-ROM内）をお読みください。
- お買い上げ時、外部I/O端子は「OFF」に設定されています。「OFF」設定時は入力設定と同様に内部部品を接続できます。
- 外部I/O端子は出力端子として使用する場合は、外部からの信号と衝突しないように注意してください。

＜定格＞

- アラーム入力1、アラーム入力2、アラーム入力3
入力仕様：無電圧マイクロ接点入力 (DC4 V～5 Vフルアップ内蔵)
OFF : オープンまたはDC4 V～5 V
ON : GNDとのマイク接点（必要ドライブ電流1 mA以上）
- アラーム出力、UX端子
出力仕様：オーバードライブ出力（外部からの最大印加電圧DC20 V）
OPEN : 内部フルアップによるDC4 V～5 V
CLOSE : 出力電圧DC1 V以下（最大ドライブ電流50 mA）

マイク/ライン入力端子・オーディオ出力端子

カメラに外部マイクやスピーカー（いずれも市販品）を接続して、音声を受話・送話できます。外部マイク用のコードは、7.5 m以内の長さのものを使用してください。コードの長さや、マイクの特性によって音質が低下することがあります。



調整用モニター出力端子

Φ3.5 mmのミニプラグ（モノラル）を接続します（出画確認を行う場合のみ）。

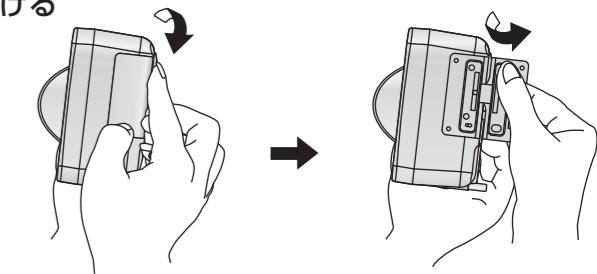
- 推奨プラグ形状：L型

■重要

- 調整用モニター出力は、設置時やサービス時にビデオ受像機で画角などを確認することを目的にしたもので。録画および監視目的には使用できません。
- 映像の上下左右に黒帯が見える場合があります（画角は変わらないため調整に支障はありません）。

SDメモリーカードを取り付ける

1 本体側面のカバーを開ける



2 SDメモリーカードのラベル面を本体の背面側にして差し込み、指でカチッと音がするまでSDメモリーカードを押す

メモ
● カメラの状態表示ランプが赤になったら、SDメモリーカードを取り外し、カードが書き込み禁止になつていないか確認してください。書き込み禁止になつてない状態で状態表示ランプが赤のままの場合は、SDメモリーカードをフォーマットしてください。

4 カメラを設定する

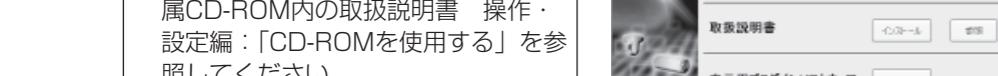
カメラ画像をPCで見られるように設定する

PCのファイアウォール設定が有効になっているときは、一時的に解除してからカメラ設定を行ってください。

1 付属のCD-ROMをPCのCD-ROMドライブにセットする

使用許諾契約が表示されるので、使用許諾契約を読みのうえ、「使用許諾契約の項に同意します。」を選択し、[OK] をクリックします。

CDランチャーメニューが表示されないとときは、付属CD-ROM内の「CDLauncher.exe」ファイルをダブルクリックしてください。



2 IP簡単設定ソフトウェア【起動】をクリックする

【IP簡単設定ソフトウェア】画面が表示され、カメラが見つかるとカメラのMACアドレスやIPアドレスなどの情報を表示します。

3 設定するカメラをクリック（①）して、【カメラ画面を開く】をクリック（②）する

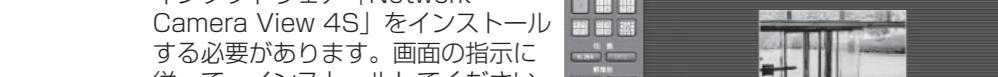
メモ
● カメラが表示された場合は、設定したいカメラに貼られているラベルに記載のMACアドレスと同じカラムをクリックしてください。

4 認証ダイアログが表示されるので、初期設定のユーザー名【admin】とパスワード【12345】を入力し、[OK] ボタンをクリックする

カメラのライフレームが表示されます。

● 画像を表示するには、表示用ブラウザ（例：Internet Explorer、Firefox等）を起動して、カメラ View 4S をインストールする必要があります。画面の右側に表示される「日付」と「時間」をクリックして、カメラの使用時間を確認してください。

● カメラを使用する前に、「設定」の【基本】画面で「日付时刻」の設定を行ってください。



インターネット経由や携帯電話や携帯端末でカメラ画像が見られるように設定する

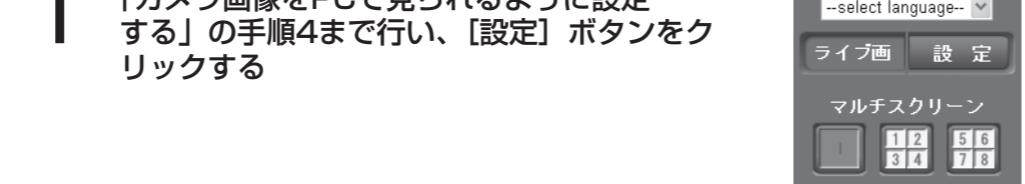
インターネット経由や携帯電話や携帯端末でカメラ画像を見る場合、ダイナミックDNSサービスを提供する「みえますねっとPRO」サービス（有料）をご利用することをお勧めします。【みえますねっとPRO】サービスについては、ウェブサイト（http://www.miepro.net）または下記を参照してください。

● 付属CD-ROM内の取扱説明書 操作・設定編：「みえますねっとPRO」サービスを参考してください。

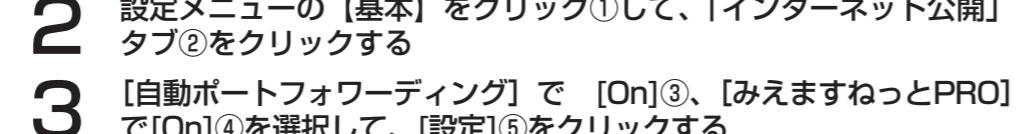
サービス（有料）の詳細は、ウェブサイト（http://www.miepro.net）を参照してください。

UPnP™対応ルーターを使用すると、ルーターのポートフォワーディング設定が自動で完了します。

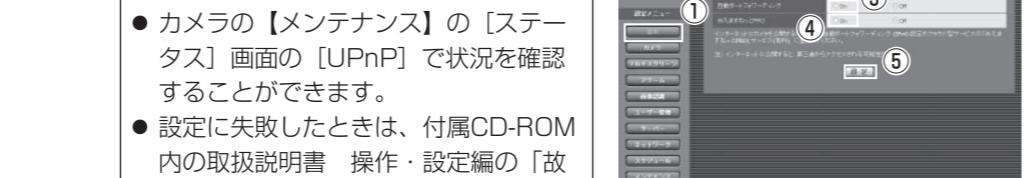
1 「カメラ画像をPCで見られるように設定する」の手順4まで行き、【設定】ボタンをクリックする



2 設定メニューの【基本】をクリック①して、「インターネット公開」タブ②をクリックする



3 【自動ポートフォワーディング】で [On] ③、【みえますねっとPRO】で[On] ④を選択して、【設定】⑤をクリックする



4 「みえますねっとPRO」サービスの登録画面の案内に従って、登録を完了する

詳細は「みえますねっとPRO」のウェブサイトを参照してください。

- 1 「みえますねっとPRO」サービスの登録が完了したら、「みえますねっとPRO」サービスのウェブサイト（http://www.miepro.net）の「モニタリング」にサムネイル表示されるカメラをクリックする
- 2 カメラのライフレームが表示される